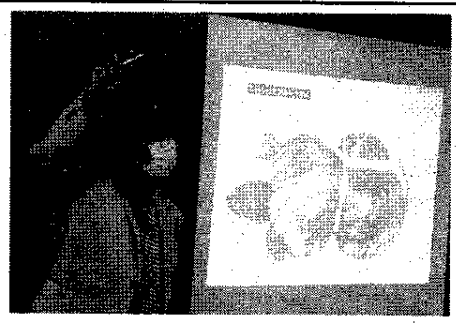
環境問題について考える

富士宮高校会議所

高校生の目線で富士宮の活性化に向けて活動を続ける、富士宮高校会議所（山田美月会頭）は17日、富士宮市西町の西町レトロ館で、環境を考えるプロジェクトで、海洋ジャーナリスト・富士山フォレストトレックの永田雅一代表を講師に、環境問題について学びを深めた。

永田代表は、「世界の海～見る環境問題」をテーマに、SDGsに取り組む高校会議所メンバーに、広い世界の海洋環境について講話し、持続可能な社会づくりについて解説した。


講師の永田代表

永田さんは、富士宮市で生まれ育ち、海洋ジャーナリスト&写真家として世界78か国の森や海を調査・撮影し、富士山周辺の湧水や河川、森林分布にも精通している。〝豊かな森が作る豊かな海〟があると唱えている。

パラオの海は中国人が魚を獲りあさり、代わりに膨大な量のゴミをもたらしている。太平洋の中心にあるゴミは、海流に乗ってやがて世界中に広がっていく。海洋プラスチックごみの総量は1億5千万㌧にも及び、年間800万㌧追加され、2050年までには魚の量を超えてしまうことを示した。

鳥の繁殖地ミッドウェーでは、コアホウドリが80万羽生息しているが、死骸の胃の中はプラスチックで溢れている、ミシシッピアカウミガメの甲羅にプラスチックが絡み、甲羅が変形している写真などが画面に映し出された。マイクロプラスチックが魚の体内に増え続けていること、日本が生産する優秀な果物を輸出する際、プラスチックでカバーしてあると輸出ができない。代わりに環境に優しい木材やシナノ木を用いるといい。

温暖化防止策として、森林と水素ガスの必要性を語り、最後に「積極的リサイクルとゴミ回収」「森林を元気にして街に緑を増やそう」「省エネ実行で二酸化炭素を減らそう」と語りかけ、高校生たちにエールを送った。

高校生らに環境問題について講話する永田代表

駿府博物館50周年特別展

名品「天・人・地」

今月24日（土）～

駿府博物館主催で今月24日（土）から来年3月6日（日）まで、駿府博物館50周年特別展名品「天・人・地」と「没後50年巴里に愛された板谷房・日本画を究めた児玉希望」を同館で開催する。

これは、名品「天・人・地」をメイン展示とし、前・中・後期の3期にわたりテーマに沿った展示を行い、また、サブ展示として「没後50年巴里に愛された板谷房・日本画を究めた児玉希望」を行う。

なお、入館者の検温、連絡先の記入や、手指の消毒・マスク着用、混雑時の入室制限等の新型コロナウイルス感染対策への協力をお願いしている。

▽展示会＝名品「天・人・地」と「没後50年巴里に愛された板谷房・日本画を究めた児玉希望」

▽会期＝令和3年7月24日（土）～令和4年3月6日（日）

※前期＝7月24日（土）～9月20日（月・祝）

※中期＝10月9日（土）～12月12日（日）

※後期＝1月15日（土）～3月6日（日）

▽開館時間＝10時～17時

※入館は16時30分まで

※月曜日＝休館日

▽会場＝駿府博物館（静岡市駿河区登呂3―1―1）

▽内容

(1)メイン展示＝名品「天・人・地」

①（前期）天の巻＝下村観山の「草廬三顧」「狐婚礼」、冷泉為恭の「足柄山図」など

②（中期）人の巻＝伊東深水の「吹雪」、島成園の「寮乃雪」、横尾芳月「梅下美人」など美人画

③（後期）地の巻＝橋本雅邦の大作「林間残照図」、竹内栖鳳の「秋霽（しゅうせい）」、川合玉堂の「奔泉紅葉」など

(2)サブ展示＝「没後50年巴里に愛された板谷房・日本画を究めた児玉希望」

▽観覧料＝高校生以上500円、中学生以下・障がい者手帳提示の人無料

▽チケット取扱場所＝駿府博物館受付・アピタ静岡店1Fサービスカウンター

▽主催＝駿府博物館

販売用「そば」の種蒔き

井之頭中生徒の会社「井中屋」

富士宮市立井之頭中学校（山崎匡史校長）の生徒向けの経済・起業体験プログラム「井中屋（いなかや）」による、販売用そばの種蒔きが16日、猪之頭養鱒場付近の畑で行われ、富士山朝霧高原そばの会の指導で、17名の全校生徒がそばの種蒔き作業に汗を流した。

同校では、中学生が擬似会社を設立して、実際の販売活動を通しながら、流通や経済の仕組みを学ぶことで、社会の仕組みや、社会で求められる資質や能力、問題解決能力の育成を図ることを目的に、地域などの協力で毎年事業活動に取り組んでいる。

3人一組でそば蒔き作業に取り組む井之頭中の生徒たち

同校は、富士山学習の一環で、これまでに静岡銀行、富士山朝霧高原そばの会、根原区、「道の駅」朝霧高原などの協力で、擬似会社「井中屋」（山崎夏生社長）を設立している。生徒がそれぞれに役割を分担しながら、事業計画、収支計画、商品企画、宣伝、販売活動体験を行っている。今年は10月29日と30日に、これまでの集大成として同校の模擬店で販売活動を展開する。

そばの蒔き方の見本を見せる遠藤会長

生徒らは16日、富士山朝霧高原そばの会（遠藤昌志代表）他4名の会員の手ほどきで、そばの種蒔きに挑戦した。当日は梅雨明けで夏の日差しが差し込める中、生徒らはそばの会が用意した5、6kgの種で、種蒔き・種に足を使って土を被せる・鍬の背中で被せた土を鎮圧するという、3人1組で力を合わせて種蒔き作業を行った。今後はそばの会のメンバーと共に丹精して育て、9月下旬に刈り取りを計画している。

遠藤会長は「昨年は空の粒が見受けられたので、今年は鶏糞を入れてみたので豊作になることでしょう」と期待を寄せた。

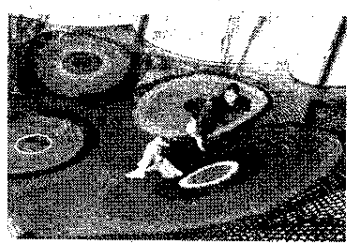
そばの種蒔き事業の他、「井中屋」事業として、8月頃に大根の種蒔き、販売する菓子などの試食会、大根の土寄せ、10月下旬に落花生の収穫などに取り組む計画ということで、地域と共に井中屋の成功に向けて事業が展開されている。

富士山こどもの国 夏休みこどもまつり

ジマス・水上ゴザ渡り・カヌー教室・くもの巣ネット

7/22日（木）～8/29（日）

富士山こどもの国では今月22日（木）～8月29日（日）まで、「夏休みこどもまつり」を同園で開催する。



「ニジマスイベント」「カヌー体験」「くもの巣ネット」は、夏休み期間中は、毎日開催！

また、水の国の夏の大人気アトラクション夏休み期間限定「水上ゴザ渡り」は、8月7日（土）スタート！

なお、新型コロナウイルスの感染防止対策の一環として、「水の国エリア」の水の遊び場は利用中止となる。

【ニジマスイベント】

▽開催期間＝令和3年7月22日（木）～同年8月29日（日）

毎日開催

▽時間＝9時30分～15時30分

※塩焼き体験9時30分～16時

※つかみ取り体験11時15分～15時45分

▽会場＝水の国エリア「釣り会場」

▽参加費

①釣り体験＝600円（竿1本貸出30分・ニジマス1尾付）

②つかみ取り体験＝400円

③塩焼き体験＝300円

▽参加方法＝当日、現地にて先着順の時間予約制

▽その他＝混雑時は人数制限、マスク着用・手足の消毒、大声を出さない

【水上ゴザ渡り】

▽開催期間＝令和3年8月7日（土）～同年8月29日（日）

▽時間＝9時30分～16時

▽会場＝水の国エリア「大池」

▽参加費＝無料

▽対象＝2歳以上から

※幼児はライフジャケット着用

▽参加方法＝当日現地にて順番に並ぶ

【カヌー教室】

▽開催日＝毎日

▽時間＝9時～16時30分

▽会場＝水の国エリア「大池」

▽参加費＝無料

▽対象＝2歳以上から

※幼児はライフジャケット着用

▽参加方法＝当日現地にて順番に並ぶ

【くもの巣ネット】

▽開催期間＝令和3年7月22日（木）～同年8月29日（日）

▽時間＝10時～16時

▽会場＝そうげんの国エリア

▽参加費＝無料

▽対象＝4歳～12歳まで（小学6年生）

※15分入替制

▽参加方法＝当日、現地にて先着順の時間予約制